

委員会だより

＜ 3 月 6 日 (日) 9 名出席 ＞

1. グルニエ神父様お話

司教様意向に基づき、司祭、修道者、信徒が互いに協力して宣教司牧の使命を果たす為、今回出された「共同宣教司牧推進委員会」からの研修コース参加の呼びかけに、教会として参画していきたい。それぞれの可能性を生かすために、ヨゼフ会、マリア会でも相談をしてほしい。 4 月 23 日 (土) 14 時から、中和田教会において、「横浜教区宣教司牧評議会」の 5 月総会に向け、神奈川県としての事前協議会が行なわれる。

2. 3 月行事の確認

3 月 12 日 (土) 四旬節黙想会 (Sr. 山田－汚れなきマリア修道会) 赦しの秘跡 (作道神父、グルニエ神父、他) 聖週間 : 3 月 24 日 (木) 20 時 主の晩餐のタベのミサ
25 日 (金) 20 時 主の受難
26 日 (土) 19 時 復活の主日・復活の聖なる徹夜祭
27 日 (日) 10 時 復活の主日・日中ミサ (洗礼式あり、ミサ後パーティー)
3 月 26 日 (土) 10 時 復活祭前大掃除

3. 審議事項

- (1) 復活祭パーティー、グルニエ神父叙階 30 年祝い、送別会
 - ◆ 会場 : 聖堂にて立食形式
 - ◆ 予算 : 5 万円 + α (料理は行事委員中心の準備グループにて)
 - ◆ 最後に記念撮影を行なう (小野委員)
- (2) 葬儀取扱規定見直し
 - ◆ ヨゼフ会、マリア会の発足と主任司祭交代などに伴う見直し。(資料あり)
 - ◆ 「葬儀マニュアル」は事務室に常備する。
- (3) ミサ時の座席配置について
 - ◆ 新主任司祭を待って決める。
- (4) バザー委員会メンバーの決定
 - ◆ バザー委員会 : 山本行事委員 (長)、下村委員長、福島副委員長、甲斐財務委員。他にヨゼフ会、マリア会から各 2 名が協力者としてバザー委員会に参加。

4. その他の事項

- (1) 信徒名簿の作成
情報管理等安全性の問題もあるので、継続検討。
- (2) 委員の改選に向けて 各委員、グループで後継者育成を考慮に入れ、時代に即したやり方で活動を進める。
- (3) 備品の棚卸
3 月 26 日に甲斐委員を中心に実施予定。
- (4) ハンドマイクを購入する ⇒ 3 月 27 日までに準備。
- (5) 「合同祈祷集会」(2 月 6 日実施) の反省会 ⇒ 3 月 20 日 (日) 14 時・中和田教会

5. 各委員会報告

- (1) 財務委員会
 - ◆ 2 月度会計報告
 - ◆ 畳替え費用 総計 203,973 円
 - ◆ 一粒会 2 月收入 : 44,400 円、累計 (1~2 月) : 108,900 円
- (2) 典礼委員会
 - ◆ 「枝の主日」用枝の準備 庭のそてつを使用。不足分は松下様が寄付してくださる。
 - ◆ 「香部屋ハンドブック」を一冊購入。

マリア会だより

＜ 3 月 20 日 (日) 33 名出席 ＞

1. 委員会報告

2. マリア会関係

- ◆ 会則の決定 (次回例会で配布する)

- ◆ イースターパーティーに 1 万円寄付。
- ◆ 神父様叙階 30 周年の御祝いを差し上げます。
- ◆ 教会行事のお手伝い (大掃除、パーティー準備等) で午後に及ぶ場合はお弁当を持参下さい。
- ◆ お茶等共同購入品の申込は 4 月より集会室に張り出しますので、気をつけて御覧下さい。

3. 行事よりバザー関係の報告

- ◆ バザー委員は花坂さん、上野さんに決定
- ◆ バザー奉仕日 : 毎週木曜日午後 1 時～
- リーダー : 山本さん、松尾 (秀) さん、永島さん

4. その他

- ◆ 小山副委員長 : 4 月から神父様が常駐されないの、火の始末、戸締まり等十分気をつけて下さい。

【次回例会は 4 月 17 日 (日) 当番は A 地区】

ヨゼフ会だより

＜ 3 月 20 日 (日) 15 名出席 ＞

【1】ヨゼフ会のあり方と活動内容に関する議.....

- 2 月例会に引き続いて、現在の課題の認識を中心に闊達な議論が行われました。全てを網羅出来てはいませんが、意見、感想、議論のいくつかを記します。
- ◆ 「先唱」を自分がやってみて、真の意味でミサの流れがわかって来た。 2000 年間、教会が守って来た「形」は素晴らしいことが実感出来た。 世代や男女を問わず、是非多くの人に体感して頂きたい。
 - ◆ 典礼グループでは、第 5 日曜日がある月に「先唱者が集う会」を始めた。 所謂「語り合う会」であるが、そこからいろいろな意見が出て来る。
 - ◆ 若い世代／中堅世代が参画しにくい要因 :
 - ・ 仕事で、日程的な約束がしにくいことが課題。
 - ・ グループ制への移行も行っており、都合がつかない場合にはグループとして臨機応変に対応していくようにしよう。 そのような場合にも、プレッシャーを感じない風土、雰囲気醸成していくことが大切。
 - ・ その意味で、広報や掲示板にミサ当番、役割分担予定を先々まで詳細に公示するのはいかがなものか？ ⇒ ヨゼフ会だけの問題ではなく、今後の検討課題とする。
 - ・ 失敗や不都合があっても、とやかく言わない (誰にでも失敗はある) 風土にしよう。
 - ・ あまりガチガチに決めた予定ではなく、その日ごミサに来られた方に、随時無理の無い範囲でいろいろお願いするのも方法である。
 - ◆ 例会で配布される資料を欠席した会員に郵送したらどうか？ ⇒ 過去に試みたが、逆に問題が発生した経緯があり、当面見送る。
 - ◆ 『教会で役割を得ることは喜びに繋がる』という議論に関連して・・・
 - ・ この意味で教会内のゴミ拾いをやらせて貰っている。
 - ・ 「私がやった」という態度は、少なくとも教会においては高慢に繋がるのではないか。
 - ◆ いろいろあるが、このような「ハダカの議論」は非常に良い。
 - ◆ 『他宗教との交流』に関連して・・・
 - ・ 「霊性」を中心として、学び合う場は非常に良い。
 - ・ 他宗教と学び合うことは、自らの宗教を深めることになる。

次回の例会では、1～3 月の議論を纏めて、「動き」に繋がる方向付けを行っていく予定です。

【2】二俣川教会に転任される主任司祭グルニエ神父様よりご挨拶を頂きました。 有難うございました。



広報 なかわだ 第 311 号

4 月の予定

委員会	4 月 3 日
招命祈願日	4 月 17 日
ヨゼフ会、マリア会例会	4 月 17 日



2005 年 4 月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1

Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 17 年 4 月 3 日



輝いています、その行いは

主任司祭 ジャック・グルニエ



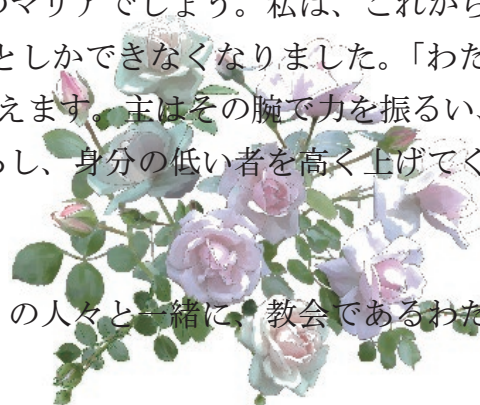
今年、四旬節の間、教会の建物がリフレッシュされるプロセスを見守りながら過ごすことができました。

ところで、そういった作業を行うに当たっては、いろいろの準備の段階や、また実行に移る時も細かくプランニングする必要があるということを毎日実感できました。特に、足場を組む作業が印象に残りました。ここに立っている二つの構造は、やはり職人の技にチャレンジを生むに違いありません。図面を見た上で組み立てが決まるとはまったく言えません。現場に来ていろいろ判断しながら、初めて上手くできるに違いありません。なぜかといえば、現場には植物が植わっていたり、様々庇とかもあるかもしれません。私はそのやり方を見て感動しました。

同じように、私たちは誰でも、毎日いろいろの「現場」に出かけて、足場を組んだ職人の方たちのように行動を始める準備をしているのではないかと思います。生ける神さまと協働しながら、そのみはからいに参画するようになります。これこそ私たちの心の喜び！み国が来ますように！

さて、みなさんは入り口の表にある中和田のマリア像を見られたことと思います。なんか帯の色が変わりましたね。ペンキを塗ってくださった方も誇りを持ってニコニコしていました。初めて気がついたことですが、聖母の帯は風になびいていると分かりました。そうです、マリアが出かけた場面でした！間違いなくエリサベトの家へ行く途中のマリアでしょう。私は、これからいつまでも、歌を口ずさんでおられるマリアさまを見ることしかできなくなりました。「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。主はその腕で力を振るい、思い上がる者を打ち散らし、権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げてくださいます。」

幸いであること。神はわれわれとともにおられます！多くの人々と一緒に、教会であるわたしたちはその輝きに加わりました。





2004 年・第 13 回湘南キリスト教セミナー報告

竹 内 廣 治

『第 13 回湘南キリスト教セミナー』 実行委員長・中村氏 (大船教会) 挨拶より

「11 月 13 日から 11 月 27 日までの 3 回の土曜日に、" とともに生きる喜び・いのちの大切さを見つめて " という共通のテーマで開催された『第 13 回湘南キリスト教セミナー』は、お陰様で天候に恵まれ、しかも暖かく、大勢の受講者にお出でいただき、成功裡に終了することができました。これも偏に講師の先生、神父様、実行委員の皆様の一致協力の賜物と心から感謝申し上げます」。



カトリック大船教会

- ・日時：2004 年 11 月 13 日 (土)・11 月 20 日 (土)・11 月 27 日 (土)15:00 ～ 17:00
- ・会場：カトリック大船教会
- ・参加費：1000 円 (全 3 回参加できます)

【第 1 回】 村上和雄先生 (筑波大学名誉教授) 「大自然の見えざる力」
お話の内容には難しい個所もありましたが、時にはユーモアを交えての笑いもありで意外な一面も伺えました。笑いのある楽しい生活が病を癒すと結論されました。

【第 2 回】 日野原重明先生 (聖路加国際病院理事長) 「各年代での生き方」
愛すること、愛されることの意味。その愛をどう受けとめ生きるのか。93 歳とは思えぬ迫力で語られます。ユーモアを巧みに交え、聴衆を感動の波に誘う話術の妙は、流石名調子です。

【第 3 回】 Sr. 高木慶子先生 (英知大学教授、「生と死を考える会」全国協議会会長、援助修道会)
" 人生に希望をもつために「生と死を考える」 " をテーマとしてのお話です。先生ご自身の体験と実践が語られますから、生々しい感動と信仰の喜びを、これからの教訓とする貴重な 2 時間でした。

このセミナーの開催までの道のりは、決して容易なものではありませんでした。念には念をと、会議は延べ 6 回以上、先生方との折衝も慎重の上にも慎重を期して、これに当られた委員長のご苦勞が偲ばれます。会議の中の論議でいちばん問題になったのが、セミナー設立の目的 (信者でない人に、キリスト教を知って教会へ足を運んでいただく) が薄いのではないかと、という反省でした。

祈りにも似た願い秘めて、実行委員たちは 3 日間それぞれのお役目に就きましたが、参加者からのアンケートの中には思いもつかぬご指摘もあり、大いに恐縮いたしました。セミナーそのものは大変好評で、大いに満足とのお答えが、実行委員には心の支えとなりました。

< 第 13 回湘南短期キリスト教セミナー総括 >

- ・参加者数…第 1 回 約 350 名、第 2 回 約 420 名、第 3 回 約 300 名 計 1,070 名
- ・参加者カード販売…全回通し券 450 枚、当日券合計 86 枚 (売上金 493,000 円)
- ・中和田教会参加者カード販売…28 枚 (売上金 28,000 円)

事務局から、先生方の当日講演のビデオテープと録音テープ、高木慶子先生の著書「死と向き合う瞬間」が教会に寄贈されましたのでご利用ください。会議室の書棚に置いてあります。

中和田教会の皆様のご協力ありがとうございました。

ミ サ 当 番 表 (2005 年 4 ～ 5 月)

月/日	第一朗読者	第二朗読者	共同祈願	奉 納	オルガン	侍 者	先唱者	準備係
4/ 3	小 谷	小 野	小 谷	小 谷・中村 (南)	岩 渕	石 崎・石 井 (づ)	大 宮	下村・松下
4/10					森 田	石 井 (大)・永 田	富 田	中谷・青柳
4/17	宮 崎	永 田	大 宮	宮 崎・横 塚	美 底	石 井 (祐)・内 田	清 水	井上・大原
4/24	森 田	町 田	森 田	森 田・位 田	岩 渕	石 原 (知)・森 脇 (圭)	竹 内	大宮・松尾
5/ 1		山 本	小 谷	・永 島	森 田	石 井 (祐)・石 井 (麻)		下村・松下
5/ 8					岩 渕	石 井 (づ)・石 原 (未)		中谷・青柳
5/15		楠 田	山 中	・松尾 (仁)		石 崎・下 迫 (瑞)		井上・大原
5/22		下 村		・宮 崎		石 井 (大)・下 迫 (佳)		大宮・松尾
5/29		石 井 (悠)	山 本	・清 水		石 井 (祐)・石 井 (づ)		下村・松下

グルニエ神父様叙階 30 周年のお祝いと送別会

3 月 27 日、御復活の主日ミサの後、グルニエ神父様の叙階 30 周年の御祝いと送別会を兼ねて、御復活のパーティーが開かれました。大変楽しい一時を過ごした後、最後は全員でトンネルを作って神父様への感謝と御祝いの気持ちを込めつつお別れ致しました。

神父様からは、中和田の二年間は良い思い出です、隣の二俣川なので、是非時々皆さんにもお越し頂きたいとの御挨拶を頂きました。



ご馳走の数々



小谷さんの伴奏で仰げば尊し



全員のトンネルでお見送り



洗礼おめでとうございます

3 月 27 日、御復活の主日ミサで下記の皆様が受洗されました。

マリアバルトロメオ 石 原 ^{ち せ} 知 世 さん
ルチア 石 原 ^{み く} 未 来 さん
マリアガブリエル ^{お お よ し は ら} 大 葎 原 ^{か な こ} 叶 子 ちゃん



洗礼志願式へ行ったこと

石原知世・未来

2 月 13 日に藤沢教会に行ってきました。司教様もいらして、とても立派で、あざい洗礼志願式になりました。その中で、私のいちばん印象深かったのは人の多さです。洗礼志願者が子どもより大人の方がとても多かったのが驚きました。そして、全体では、会場のイスの数以上の人がいたような気がしました。ここに集まった人たちが洗礼を受けるとすると、とてもあざいことだと思いました。

私達は、志願書にサインをしてから、グルニエ神父様におでこに油をぬっていただきました。終わってから、司教様とみんな写真をとってもらいました。

私達はまだ知らないことが多いので、イエズス様のことをこれからも学んでいきたいと思ひます。



お 知 ら せ

✠ 転 出 お元気で
3 月 18 日付 戸塚 (原宿) 教会へ
ミカエルトマ 鈴木 富雄 様
セシリア 矩 子 様
ヤコボ 順 様

✠ ミ サ 司 式 司 祭
4 月 1 日 (初金ミサ) 高野哲夫神父
3 日 (日) 鈴木勲介神父
10 日 (日) 高野哲夫神父
17 日 (日) 渡辺裕成神父
24 日 (日) 鈴木勲介神父